

工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工 事 名：令和8年度皇居外苑和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事
2. 工事場所：東京都千代田区皇居外苑 3-1 和田倉噴水公園
3. 工 期：令和9年3月15日まで
4. 工事内容：工事を行うもの。
 - ・仮設工事：一式
 - ・防水工事：一式
 - ・建具塗装工事：一式
 - ・屋根塗装工事：一式
 - ・撤去工事：一式

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
3. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
4. 以下の項目は、該当する□欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 適用基準等

- ☒ (1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）
(国土交通省)
- ☐ (2) 公共建築工事標準書式（国土交通省）
- ☒ (3) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）
(国土交通省)
- ☐ (4) 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省）
- ☐ (5) 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、機械設備工事編）（国土交通省）
- ☐ (6) 公共住宅建設工事共通仕様書（国土交通省）
- ☐ (7) 公共建築工事成績評定基準土木工事共通仕様書（国土交通省）
- ☐ (8) 土木工事施工管理基準（国土交通省）
- ☒ (9) 写真管理基準（案）（国土交通省）
- ☒ (10) 工事完成図書 of 電子納品等要領（国土交通省）

IV .特記事項

1. 地域事項の概要

- ☐ (1) 自然公園法による地域地種区分 ー公園ー地域（地区）
- ☐ (2) 自然公園法による車馬の乗り入れ規制区域
- ☐ (3) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律による鳥獣保護区、特別保護区域
- ☐ (4) 文化財保護法による史跡名称天然記念物
- ☐ (5) 森林法による保安林
- ☐ (6) 海岸法による海岸保全区域
- ☐ (7) 砂防法による砂防指定地
- ☐ (8) 河川法による河川区域及び河川保全区域

2. 一般共通事項

- ☒ (1) 工事完成図のサイズは（☐ A1、☒ A3、）とする。
- ☒ (2) 工事完成図は CAD で作成し、CAD データの提出は（☒ 必要、☐ 不要）とする。
- ☒ (3) 工事写真は、（☒ A4 版、☐ 版）の工事写真帳に整理して 1 部提出する提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、監督職員と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。
- ☒ (4) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）（環境省ホームページに掲載（毎年 2 月改正））において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロードのうえ、E x c e l ファイルで作成し、提出する。
- ☐ (5) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用実績調査要領により、E x c e l ファイルで作成し、提出する。

3. 施工条件 ※該当しない箇所の詳細事項（a～）は省略できるものとする。

(1) 工事全般関係

- ☐ ①各種積算の取組：
- ☒ ②積算補正：週休 2 日制工事（現場閉所型）とする。
- ☐ ③調査対象工事：
- ☐ ④余裕工期の設定：

(2) 工程関係

- ☐ ①影響を受ける他の工事
 - a.工事名・発注者： b.制約内容：
- ☒ ②自然的・社会的条件による制約
 - a.要因：社会的条件

b.制約内容：工事の実施時間は月曜日から金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時までとすること。また、午前 11 時 30 分から午後 1 時 30 分までは公園利用者への配慮から作業を休止すること。また、その他の時間の工事实施については、監督職員に申し出て承認を得ること。

- ☐ ③関連機関との協議による制約
 - a.関連機関： b.制約内容：
 - c.未成立の場合における成立見込時期：
- ☐ ④占用物件（地下物件、架空線など）・埋蔵文化財等の事前調査・移設
 - a.物件内容： b.物件管理者：
 - c.事前調査・移設の期間：
- ☐ ⑤特殊工法に伴う設計工程上の作業不能日数
 - a.対象工種： b.場所：
 - c.日数： d.内容：

(3) 用地関係

- ☐ ①用地の取得未了
 - a.場所・範囲： b.取得見込み時期：
 - c.期日までに用地取得できない場合の対応：
- ☐ ②保安林解除や用地規制等
 - a.場所・範囲： b.解決見込み時期：
 - c.当面の対応：
- ☐ ③官民境界の未確定部分
 - a.場所・範囲： b.協議状況、確定見込み：
- ☐ ④用地の借地及び官有地等の使用
 - a.場所・範囲： b.期間：
 - c.復旧条件：

(4) 環境対策関係

- ☐ ①自然環境及び景観等保全のための制約
 - a.要因： b.対象箇所：
 - c.制約内容：
- ☐ ②公害防止のための制限
 - a.対象工種： b.対象箇所：
 - c.制限内容：
- ☐ ③水替、流入防止施設
 - a.対象工種： b.対象箇所：
 - c.制限内容：
- ☐ ④濁水、湧水等の特別処理
 - a.対象工種： b.対象箇所：

c.処理方法：

☐ ⑤事業損失懸念

a.懸念事項： b.事前・事後調査の有無：

c.調査箇所： d.調査方法：

☒ ⑥二酸化炭素排出量削減のための取組

a.確認事項：施工計画、施工時の作業内容

b.事前・事後調査の有無：有

c.調査箇所：施工箇所および施工に関わる箇所（材料調達、搬出入含む）

d.調査方法：監督職員と協議の上で決定する。

(5) 安全対策関係

☐ ①交通安全施設等の指定

a.規制内容： b.規制箇所：

c.規制期間：

☐ ②交通誘導警備員の配置

a.対象要因：本件工事における配線・取り換え工事時

b.対象箇所：園内

c.対象期間：工事期間中に必要とされる期間（監督職員との協議による）

d.その他：

☐ ③対策をとる必要がある他施設との近接工事

a.対象施設・管理者： b.対象箇所：

c.施工条件： d.その他（協議状況他）：

☐ ④防護施設等

a.必要な防護施設： b.危険要因：

c.対策内容： d.対象工種：

e.対象期間： f.その他：

☐ ⑤保安設備及び保安要員の配置

a.対象工種： b.対象箇所：

c.対象期間： d.対象要因：

e.その他

☐ ⑥発破作業等の制限

a.制限内容

☐ ⑦有害ガス及び酸素欠乏等の対策

a.対策内容

☐ ⑧高所作業の対策

a.対策内容

☐ ⑨砂防工事の安全確保対策

a.対策内容

(6) 工事用道路関係

- ☐ ①一般道路の搬入路使用
 - a.経路： b.制限内容：
 - c.占用する際の関係機関協議： d.その他：
- ☐ ②仮道路の設置
 - a.区間： b.構造等の指定：
 - c.必要な維持補修内容： d.その他：
- ☒ ③工事用道路の使用制限
 - a.対象区間：和田倉橋
 - b.対象期間・時間：工事期間中
 - c.制限内容：車両通行の原則禁止
 - d.その他：

(7) 仮設備関係

- ☐ ①他の工事に引き継ぐ場合
 - a.仮設備の名称： b.引継ぎ先の受注者
 - c.撤去・損料などの条件： d.維持管理条件
 - e.引き渡し等の時期： f.その他
- ☐ ②引き継いで使用する場合
 - a.内容： b.時期：
 - c.条件： d.その他：
- ☐ ③構造及び施工方法の指定
 - a 対象物： b.存置期間：
 - c.規模・企画・数量等： d.施工方法：
 - e.その他：
- ☐ ④設計条件の指定
 - a.対象物： b.設計条件：
 - c.その他
- ☐ ⑤除雪
 - a.対象箇所： b.対象期間：
 - c.制限内容： d.その他

(8) 建設副産物関係

- ☐ ①建設副産物情報交換システムの活用

監督職員への報告は、当該システムで作成した再生資源利用計画書（実施書） 及び再生資源利用促進計画書（実施書）により行うものとする。5
- ☐ ②建設発生土情報交換システム登録対象

受注者は、発注者が当該システムに登録した情報について、発注後情報の更新を行うものとする。

☐ ③再生資材の活用の明示

a.資材名： b.規格：

c.使用箇所： d.その他：

☐ ④建設リサイクル法対象工事

a. 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

b. 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法		
工程	作業内容	分別解体等の方法
仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
土工	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
基礎	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
本体構造	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
本体付属品	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
その他（ ）	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用

c. 特定建設資材廃棄物の搬出

再資源化等をする施設の名称及び所在地		
特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊		
アスファルト・コンクリート塊		
建設発生木材		

d. 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

☐⑤建設発生土の受入地への搬出

a.搬出箇所・距離： b.受入地名：

c.受入条件： d.その他：

☐ ⑥建設発生土の他工事への搬出

a.搬出箇所・距離： b.受入地名：

c.受入条件： d.その他：

☐ ⑦他工事からの建設発生土利用

- a.他工事情報： b.受入条件：
c.受入時期： d.その他：

☐ ⑧土壌汚染対策法の届出

- a.対象の有無： b.場所・範囲・面積：
c.該当工種： d.発生量：
e.その他：

(9) 工事支障物件関係

☐ ①占用物件等の工事支障物件

- a.物件名： b.物件管理者（連絡先等）：
c.物件位置： d.物件管理者との協議状況：
e.移設時期： f.その他：

(10) 薬液注入関係

☐ ①薬液注入

- a.工法条件： b.注入管理：
c.産業廃棄物が発生した場合の処分方法：
d.地下埋設物がある場合の防護方法：
e.周辺環境影響調査：

(11) イメージアップ経費

☐ ①率計上内容

a.仮設備関係

- ☐ 揚水・電力等の供給設備、☐ 緑化・花壇、☐ ライトアップ施設
☐ 見学路及び椅子の設置、☐ 昇降設備の充実、☐ 環境負荷の低減

b.営繕関係

- ☐ 現場事務所の快適化、☐ 労働者宿舍の快適化
☐ デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
☐ 現場休憩所の快適化、☐ 健康関連設備及び厚生施設の充実等

c.安全関係

- ☐ 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（警報機等）
☐ 盗難防止対策（警報機等）、☐ 避暑・防寒対策

d.地域とのコミュニケーション

- ☐ 完成予想図、工法説明図、☐ 工事工程表
☐ デザイン工事看板（各工事 PE 看板含む）
☐ 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
☐ 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
☐ パンフレット・工法説明ビデオ
☐ 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）、☐ 社会貢献

☐ ②積上計上内容：

(12) その他

☐ ①工事用資機材の保管及び仮置き（製作工事及び他工事との工程調整等）

a.資機材の種類： b.数量：

c.保管・仮置き場所： d.期間：

e.保管方法： f.積込・運搬方法：

g.機械の分解・組立等ある場合の回数：

h.その他：

☐ ②工事現場発生品

a.品名・数量： b.再使用の有無：

c.引き渡し時期・場所： d.品質検査：

e.運搬方法・費用： f.その他：

☐ ③支給品・貸与品

a.品名・数量： b.規格等：

c.使用場所： d.積算条件：

e.引き渡し場所： f.返済方法等：

g.その他

☐ ④新技術・新工法・特許工法の指定

a.工法名称： b.施工場所：

c.施工条件： d.NETIS 番号：

e.その他：

☐ ⑤指定部分の引き渡し

a.指定部分： b.引き渡し日：

c.その他

☐ ⑥部分使用

a.使用箇所： b.使用条件：

c.使用期間：

☐ ⑦給水

a.関係機関名： b.協議時期：

c.取水箇所： d.取水時期：

e.取水方法： f.その他：

☒ ⑧現場事務所・現場休憩所等（テントを含む）の設置

☒ 可 設置条件：監督職員と協議の上で決定

☐ 不可 想定休憩場所等：

☐ ⑨監督職員事務所の設置

a.場所：

b.規格：

c.設置期間：

d.備品・設備等：

e.その他：

☒ ⑩工事用水及び工事用電力の構内既存設備

a.工事用水：☒利用できる（☐有償、☒無償）、☐利用できない

b.工事用電力：☒利用できる（☐有償、☒無償）、☐利用できない

☒ ⑪資材置場や作業場等

a.場所：協議による

b.期間：工事期間中

c.制限内容：維持管理作業を優先の上、協議による

d.その他：外交関連行事などの行事日において関係機関による要請により休工する場合がある。

4. 土工

☐ (1) 土砂のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。

☐ (2) 土砂を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、シート掛け等の適切な対策を講じる。

☐ (3) 植生保護及び土壌の固結防止を図るため、以下に場所においては重機等の出入りは避ける。

(☐図示： 、☐)

☐ (4) 土工における運搬および敷均し等については、含水比の高い状態で作業を行ってはならない。

☐ (5) 搬入する土砂は、地域生態系保全の観点から、以下の条件のものとする。

(条件：)

5. 無筋・鉄筋コンクリート

☐ (1) 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径(mm)	適用箇所

☐ (2) 鉄筋の継手方法は以下のものとする。

☐ ①重ね継手：部位 ()、径 ()

☐ ②ガス圧接：部位 ()、径 ()

☐ ③ : 部位 ()、径 ()

☐ (3) 鉄筋圧接完了後の試験は以下のものとする。

(☐超音波試験、☐引張試験)

☐ (4) 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$ スランプ 適用箇所

☐ (5) 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$ スランプ 適用箇所

☐ (6) セメントの種類は下記による。

種類 適用箇所

普通ポルトランドセメント

高炉セメント

フライアッシュセメント

☐ (7) コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水は、公園区域外に搬出し適正に処理する。

6. 材料

☐ (1) 以下の工事材料は、見本又は品質を証明する資料について、工事材料を使用するまでに監督職員に提出し、確認を受ける。

(☐ JIS マーク表示品以外全て、☐)

☐ (2) 植栽材料については、納入前後どちらかで材料検査をする。また、監督職員の指示があった場合は、納入樹木の根巻きを一部取り外す等により根の状況を確認し、承諾を得ること。

☐ (3) 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。

☐ (4) 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。また、使用薬剤等については以下のとおりとする。

①薬剤指定：☐有（ ）、☐無（条件： ）

②性能区分：☐JAS： 、☐AQ：

☐ (5) 木材のインサイジング加工は、製材の日本農林規格による。また、インサイジング機は、一般社団法人全国木材検査・研究協会において認定された機種を使用する。

☐ (6) 木材の加圧処理材を現場において切断等の加工を行う場合は、加工した部分に表面処理用木材保存剤（(公)日本木材保存協会(JWPA)認定薬剤）で野外での使用が可能な薬品）を塗布する。

☐ (7) 木材の仕上げは、図面に記載のない限り、角材はプレーナー仕上げ及び丸太は円柱仕上げを標準とする。

☐ (8) 木材の端部及び角部は図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。

☐ (9) 木材の背割り加工は、材の厚みの（☐ 1/2、☐ ）とする。

☐ (10) 工事現場搬入時における木材の含水率を指定する場合は、同一試験試料から採取した試験片の含水率の平均値が以下の数値以下とする。

(☐ 人工乾燥処理： %、☐ 天然乾燥処理： %)

- ☒ (11) 使用材料に係る二酸化炭素排出量削減の取組について、受注者は、調達時における削減目標値と実績値との比較結果及びその算定方法（使用原単位、算定条件等を含む。）を整理し、監督職員と協議の上で提出すること。

7. 工事共通

(1) 構造物撤去工

- ☐ ① 舗装切断作業により生じる汚濁水は、吸引により回収のうえ、公園区域外に搬出し適正に処理する。

(2) 仮設工

- ☐ ① 交通誘導警備員を配置する場合、各公安委員会が必要と認める路線・区間及び設計図書に記載のあった場合は、規制箇所毎に交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）1名以上配置するものとする。また、請負者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。

(3) 運搬工

- ☐ ① ヘリコプター運搬については、着手前に「ヘリコプターによる輸送業務の安全管理要領（自然環境整備担当参事官通知、平成22年10月8日）に基づき、輸送計画書（飛行計画及び安全管理計画等）を監督職員へ提出すること。
- ☐ ② ヘリコプター運搬の想定条件は、以下のものとする。
- a. 荷積み地予定地：☐図示、☐
 - b. 荷積み地の整備：☐要（☐コンクリートパネル設置、☐）、☐不要
 - c. 荷卸し地の整備：☐要（☐ジャンプ台設置、☐伐倒・刈払い）、☐不要
 - d. 夜間繫留ヘリポート：☐有（☐図示、☐）、☐無
 - e. 運搬距離：片道水平距離：（m）、積み卸し地点間の標高差：（m）
 - f. 運搬資材：☐コンクリート・骨材等のバケット詰資材、☐鋼材、木材、その他

8. 基盤整備

- ☐ (1) 石積工の練積において、目地モルタルの施工は深目地とする。

9. 植栽

- ☐ (1) 植栽後に、防寒・対乾燥養生等が必要となった場合は、監督職員と協議する。

- ☐ (2) 支柱丸太の防腐処理は以下のとおりとする。

①防腐処理：☐有・☐無

②防腐処理方法：

- ☐ (3) 張芝部の客土（床土・目土）は、以下の条件のものとする。

①客土材：

10. 施設整備

□ (1) 舗装・石材・平板・レンガ・タイル等を材料とする以下の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）、監督職員の承諾を得る。

①舗装種類：

□ (2) 以下の舗装については、試験施工を行い監督職員の承諾を得なければならない。

①舗装種類：

□ (3) コンクリート構造物の端部及び角部は、図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。

□ (4) 施設の設置にあたり、詳細位置等について監督職員の立ち会いにより決定するものは、以下のとおりとする。

①施設種類：

令和8年度皇居外苑 和田倉トイレ塗装等改修工事

令和8年6月

環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

[illegible]

鉄筋工事	1. 鉄筋の種類	鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)	鉄骨工事	1. 施工管理技術者	打増し範囲 ・図示による () ・用いない スリーブの材質 ・標準仕様書 表6.9.3(1) (2) 及び標準仕様書 表6.9.1による (6.9.3) (表6.9.1)	防水工事	4. 押出成形セメント板 (ECP)	パネルの種類 ・外壁パネル ・間仕切壁パネル (8.5.2~4) (表8.5.1~2) パネルの取付け工法 ・A種 ・B種 (8.5.3) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0=()$ m/s 地表面積度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) パネル相互の目地幅 (mm) ※長辺 8以上、短辺 15以上 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 ※15 (8.5.3~4)	防水工事	9. 防水工事	1. アスファルト防水	アスファルトの種類 ※3種 押さえ金物の材質、形状寸法 ※アルミニウム製 1-30×15×2.0程度 ・図示 防水層下地モルタル ・適用する (施工範囲・図示) (9.2.4) 屋根保護防水 (9.2.2~3) (9.2.5) (表9.2.3~6) 種 別 施工箇所 断熱材 [G] 総縁用シート 立上り部の保護 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・A1-1 ・A1-2 ・B1-1 ・B1-2 断熱材は原則として グリ ン購入法における特定調達品目を使用すること。 (9.2.5) 平場の保護コンクリートの厚さ こ 上げては 水深80mm以上 床 厚さ 水深60mm以上 排水溝 ・設ける (図示) (9.2.5) 乾式保護材 窯業系パネル: 軽石等の軽質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化させたもの。 分類・規格 ※窯業系パネルⅠ類 ※窯業系パネルⅡ類 ・金属複合板 寸法 (mm) 厚さ 幅 長さ 2m×50cm 単位幅1cm あたりの曲げ強さ 曲げモーメント 吸水率 (%) 吸水による長さ変化率 (%) 防火性能 耐性 耐衝撃性 おもり重量 残留変形量 最大変形量 耐凍結融解性能 上引試験14℃、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと 出荷時の含水率 10%以下 寸法の許容差 厚さ: -5%~+10% 幅: ±1%	防水工事	9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	2. 溶接金鋼	鋼目の形状、寸法 100×100 6φ (5.2.2)		2. 鋼材	種 別 規 格 使用 箇 所 ※JISによる ※JISによる ※JISによる		9. 防水工事	9. 防水工事		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	3. 鉄筋の継手	部 位 継 手 方 法 径 (mm) 柱・梁の主筋 ※ガス圧接 その他 ※重ね継手 010~016 (5.3.4) (5.5.2)		3. 普通ボルト	ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等 ・図示		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	4. 鉄筋のかぶり厚さ	※標準仕様書表5.3.6によるかぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値 (mm) 柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ちし面 ※10		4. 高力ボルト	・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶接重ねめつき高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	5. 既製コンクリート杭の杭頭補強	・A形 ・B形 (各部配筋1.1) (各部配筋 図1.1)		6. ターンバックル	ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等 ・図示 (7.3.2)		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	6. 帯筋	・H形 (各部配筋2.2) (各部配筋 図2.2)		6. 溶接部の試験	明の種類 ※割付式 (7.2.6) ボルトの種類 ※羽子板ボルト 超音波探傷試験 ※行う・行わない 工場溶接の場合 AQL (%) ※4.0・2.5 部 品 検査率 検査水準 ※第6水準 工事現場溶接の場合 AQL (%) ※4.0・2.5 マクロ試験 (エンドタブ使用) ※行わない・行う 放射線試験 ※行わない・行う		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	7. 最上階柱頭補強	※行う・行わない		7. 錆止め塗料の種類	※標準仕様書 18.3.2 表18.3.10A類 (7.8.3) (18.3.2)		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	8. 梁貫通孔の補強	・H形 ・MH形 ・M形 (各部配筋7.1)		8. 耐火被覆	種別 (7.9.2) ・ラス張りモルタル塗り (7.9.7) ・耐火材吹付け (・乾式工法・半乾式工法・半湿式工法・湿式工法) (7.9.4) ・耐火板張り工法 ・耐火巻付工法 (7.9.5~6) 所要性能 構造区分 適用箇所		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	9. 機械吊上げ用フック	・A種 ・B種 ・C種 (各部配筋7.3) (各部配筋 表7.4) (各部配筋 図7.6)		9. アンカーボルトの保持及び埋込み工法	施工用 ※A種・B種・C種 (7.10.3) (表7.10.1) 構造用 ※図示・あと施工70A・(配部に取付ける場所はセメント系) (7.10.3)		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	10. 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)		10. 柱底均しモルタルの工法	種別 ※A種・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)		9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリート工事	1. コンクリートの強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.3) (6.1.4) (6.2.3) (表6.2.1) 設計基準強度 F_{cd} (N/mm ²) ・21 スランプ ※18 適用範囲 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.1.3) (6.1.4) (6.2.3) (表6.2.1) 設計基準強度 F_{cd} (N/mm ²) ・ スランプ ・ 適用範囲 ・	コンクリート工事	1. 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 厚さ (mm) 化装の有無 適用箇所 備 考 ※空洞ブロック-16 ※無・有 ・型 枠状ブロック-20 ※無・有 ・ ※無・有	防水工事	2. 改質アスファルトシート防水	種 別 施工箇所 材 質 厚さ (mm) ・AS-1 ・AS-2 防水層の種類 (9.4.2~3) (表9.4.1) 種 別 施工箇所 厚さ (mm) 総縁用シート 仕上塗料 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの取付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0=()$ m/s 地表面積度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1~2) 種 別 施工箇所 備 考 ・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2 X-1の脱気装置 ・設ける (9.5.3)	防水工事	9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	2. レディーミクストコンクリートの種類	※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (9.1.5) (表6.1.1)		2. コンクリートブロック 壁壁及び壁 (8.3.2) (表8.3.1) ブロックの種類 厚さ (mm) 化装の有無 表(8.3.1)以外の適用箇所 備 考 ※空洞ブロック-08 ※無・有 ・空洞ブロック-16 ・120・150 ※無・有 ・ ※無・有	3. 合成高分子ルーフィングシート防水		防水層の種類 (9.4.2~3) (表9.4.1) 種 別 施工箇所 厚さ (mm) 総縁用シート 仕上塗料 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの取付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0=()$ m/s 地表面積度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1~2) 種 別 施工箇所 備 考 ・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2 X-1の脱気装置 ・設ける (9.5.3)	防水工事	9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3. セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.2) (6.13.2) (表6.3.1) 上記の普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下のものとする。 ・フライアッシュセメントB種 [G] ・高炉セメントB種 [G] 使用部位 ()		3. ALCパネル	パネルの種類 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 長さ (m) 表面加工 取付け工法 ・外壁パネル ・1180・1960 ・100 ・2990・3490 ・平・凸凹 ・A種・B種・C種 ・間仕切壁パネル ・100 ・2990 ・平・凸凹 ・B種・C種・D種・E種 ・屋根パネル ・980 ・100 ・1980・2480 平 ・標仕 表8.4.4による ・床パネル ・2350・3530 ・100 ・1780・1980 外壁パネル 出隅入隅部の目地幅 (mm) ※図示 (8.4.3) 床パネルの耐火性能 ※ () 時間・無し (8.4.2)		4. 塗膜防水	防水層の種類 (9.4.2~3) (表9.4.1) 種 別 施工箇所 厚さ (mm) 総縁用シート 仕上塗料 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの取付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0=()$ m/s 地表面積度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1~2) 種 別 施工箇所 備 考 ・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2 X-1の脱気装置 ・設ける (9.5.3)	防水工事	9. 防水工事	9. 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	4. 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (6.3.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	特記仕様書 (建築その2)	縮尺	
図面番号	2 / 13	年月	令和8年6月

[illegible]

19

内装工事

⑪

せつこうボードその他
ボード及び合板張り

(19.7.2) (表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚さ (mm)	規格等
・硬質木毛セメント板 [G]	HM	・15 ・20 ・25	・
・普通木毛セメント板 [G]	NH	・15 ・20 ・25	・
・硬質木片セメント板 [G]	HF	・12 ・15 ・18 ・21	・
・普通木片セメント板 [G]	NF	・30	・
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2 (無石棉) ・8	・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ (※9 (不燃) ・12 () ・凹凸タイプ (※12 (不燃) ・15 ()	・
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25	・
・グラスウール吸音ボード2号32mm	GW-B	※25 (ガラスクロス包)	・
・せつこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・9.5 (不燃)	・
・不燃層せつこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)	・
・シーリングせつこうボード	GB-S	12.5 (不燃)	・
・強化せつこうボード	GB-F	※12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・
・せつこうラスボード	GB-L	9.5	・
・化粧せつこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅44mm程度 化粧 (※証目 板目) 専用下地材有り	・
・天然木化粧合板 [G]			・
・特殊加工化粧合板 [G]		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による 厚さ1.2	・
・ポリエステル樹脂化粧板			・
・普通合板 [G]		・生地・透視塗料塗り (ワウン合板程度) ・不透視塗料塗り (しな合板程度)	・
・メディアムデンシファイバーボード [G]	MDF	・3 ・7 ・9 ・12	・
・単板張りパーティクルボード [G]		・未研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18	・
・化粧パーティクルボード [G]		・単板おのり ・アウスタット・レイ ・塗装 ・10 (化粧) ・12 (化粧)	・
・ハードボード (素板) [G]	HB	・未研磨板 (・3 ・5 ・7 ・9 ・12) ・研磨板 (・3 ・5 ・7 ・9 ・12)	・
・ハードボード (化粧) [G]		・内使用 ・外使用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・
・インシュレーションボード [G]	IB	A級 (・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18	・

遮音シール材
・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)
合板類、縦桎板及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放 放量
※規制対象外 ・第三種
合板類の張付け ・A種 ・B種

(19.7.2)

(19.7.2)

(19.7.3)

12. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	備 考
	紙 繊維ガラス繊維無機質その他	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	
	- - - -	不燃・準不燃・難燃	

せつこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※日種
コンクリート、ALC面の素地ごしらえ ・A種 ※日種
珪藻土、プラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※日種

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放 放量 ※規制対象外 ・第三種
断熱材の打込み及び張付け

保選材	発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保選材	A種	・保選板 (2種b)	・25	・一般部
※押出法ポリスチレンフォーム保選材	A種	・保選板 (3種b)	・25	・接合部分
・硬質ウレタンフォーム保選材	※A種			
・フェノールフォーム保選材	A種			

断熱材現場発 泡工法

材質	難燃性	厚さ (mm)	施 工 箇 所
・A種1	・2級	・25	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・B種	・3級	・30	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

(19.9.3)

断熱材現場発 泡工法

材質	難燃性	厚さ (mm)	施 工 箇 所
・A種1	・2級	・25	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・B種	・3級	・30	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

20

ユニット及びその他の工事

2. 可動開仕切

3. 移動開仕切

4. トイレブース

5. 階段滑り止め

6. 手すり

7. 黒板及びホワイトボード

8. 鏡

9. 表示

10. 煙突ライニング

11. ブラインド

20

ユニット及びその他の工事

12. ロールスクリーン

13. カーテン

14. カーテンレール

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス

16. アコーディオンドア

17. 天井見切縁

18. 天井点検口

19. 床点検口

20

ユニット及びその他の工事

(20.2.13)

材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備 考
※ポリエステル ・絨	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・表示	・表示	・

(20.2.14)

ひだの種類	形 式	開閉操作	施工取付箇所	備 考
・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・プレーンひだ・片ひだ	・シングル ・ダブル	・電動 ・ひも引き ・手引き		

(20.2.14)

材 種	※アルミニウム製	・ステンレス製	・
形 式	・片引き	・引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	
形 状	・C型	・D型	・角形

材質 ・集成材 (仕上 :
・アルミニウム製 ・仕上は図示
表面処理 ※C-1 ・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)

溝幅×深さ (mm)

・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80

◎ 図示

表面材
※ビニルレザー張り (防火加工) ・
製造所

材質
・アルミニウム製 ・塩化ビニル製

(20.2.14)

材 種	寸 法	形 式	外 枠	内 枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600	・一般形 ・厚肉用 ・目地付	・縦縁付 ・厚肉用 ・目地付	・縦縁付 ・厚肉用 ・目地付	±0.5mm 片側 2.0mm以内	

アルミニウム合金押出型材は JIS SH 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS SH 8601 (A6) (外部についてはB種又は同等品以上) をおこなったものとする。
内枠、外枠のコーナースペース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理をおこなったものとする。
内枠の仕上材の留付金具はアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板の類とする。

材 種	寸 法	形 式	枠の許容差	内枠と案枠のクリアランス
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	受枠、蓋枠とも ±0.5mm以内	片側 2.0mm以内

一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの
密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの

材料の品質及び性能 (表14.2.1)

使用部位	材 料	屋 内 外 用	屋 内 用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム合金 押出型材	JIS SH 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書表14.2.1のA-1種、A-2種、B-1種 B-2種	
鋼材	ステンレス	JIS SG 4305 SUS304 表面仕上：HL又はNo.2B程度 (目地ともの場合)	
鋼材	鋼材	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS SG 3313 SEHC) の類に一般さび止めペイント (JIS SK 5621)、又はメラミン樹脂塗付塗装等の防錆処理をおこなったもの	
二重窓の中盤 目地材	鋼鉄 黄銅	JIS SG 5501 FC150, FC200 JIS SH 3100 C2600, C2720, C2801P JIS SH 3250 C3602, C3604B JIS SG 4305, JIS SG 4308 SUS304	
鋼材 カーナース 底板補強材	ステンレス鋼板 アルミニウム板	JIS SG 4305, JIS SG 4308 SUS 304 JIS SH 4000 (AI 100PH24) 表面処理：陽極酸化被膜 JIS SH 8601 (AA15) JIS SH 8602 (D)	JIS SG 4305 SUS430
鋼材	鋼材	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS SG 3313 SEHC) の類に一般さび止めペイント (JIS SK 5621)、又はメラミン樹脂塗付塗装等の防錆処理をおこなったもの	
錠	錠	亜鉛合金製 (クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類	
開閉方式	開閉方式	錠・錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする 枠の材質、形状に適合した 力 気 密着性、気密性を有する。	
パッキン材	パッキン材	塩化ビニル系ゴム 軟質塩化ビニル クロロプレン スポンジラバー エチレンプロピレン	
アンカー材 取っ手	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの 黄銅鋼板製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼板製、ステンレス鋼板製、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。	
蓋の耐荷重性能	蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のP n% 倍以上であること。	

20

ユニット及びその他の工事

20. 鋼製書架及び棚

21. 既製家具

22. カウンター

23. ステンレス流し台

24. コンロ台

25. 吊戸棚

26. 水切棚

27. くつふきマット

28. 旗竿

29. 車止めさく

30. フェンス

31. 敷地境界石標

32. 耐震スリット

33. 止水板

34. エキスパンションジョイント金物

20

ユニット及びその他の工事

区分

品質、規格等

寸法 (mm) 、形状

種類

形状 ※図示 ・
ホルムアルデヒドの放 放量
※規制対象外 ・第三種
製造所

形状 ※図示 ・
製造所

形状 ※図示 ・標準詳 細図6-11-1 ・
製造所

形状 ※図示 ・標準詳 細図6-11-1 ・
製造所

形状 ※図示 ・標準詳 細図6-11-1 ・
製造所

形状 ※図示 ・標準詳 細図6-11-1 ・
材質 ステンレス製 (既製品)

材 種

受 付 部

備 考

・塩化ビニル又はゴム製
・硬質アルミニウム合金製
・ステンレス鋼 (SUS304) 製

・ステンレス鋼 (SUS304)
・硬質アルミニウム合金

形 式

升 径

高さ (m)

・ターバー式
・同一断面式

・アルミニウム合金製

旗竿受金物
※ステンレス鋼 (SUS304) 製

形 式

材 種

柱径、肉厚 (mm)

高さ (m)

備 考

・上下式鎖内蔵式
(・標準品・スプリング式)

・ステンレス製 ・φ76.3 t=2.0
・GL t=700

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ・図示 ・
製造所
種類
※コンクリートブロック製 (市販品)
・花こう石類 (文字記号等入り)
設置方法
根切り底突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地盤を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。
建て込みは、監督職員の立ち会いのもと行う。
コンクリートの場合
容積比 たメント1：砂2：砂利4程度

方 向

タ イ プ

耐火性能

防水性能

備 考

・垂直方向
・水平方向

※完全 (金貫通型)
・

・耐火型
・非耐火型

・有り
・無し

目地 (目地材の材質は標準仕様書表9.6.1) による)

目 地

内 壁

外 壁

目地材

シーリング材 (見え掛り部のみ)

シーリング材 (見え掛り部のみ)

目地寸法 (mm)

※幅20×深さ10

※幅20×深さ10

製造所

形式

差込式

据置式

壁張り式

施工箇所 ※図示
製造所

材質

・アルミニウム ・ステンレス

クリアランス

・50 ・100 ・150

耐火性能

・有り () ・無し

製造所

工事名称

令和8年度皇居外苑
和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事

工事箇所

東京都千代田区皇居外苑3-1

図面名称

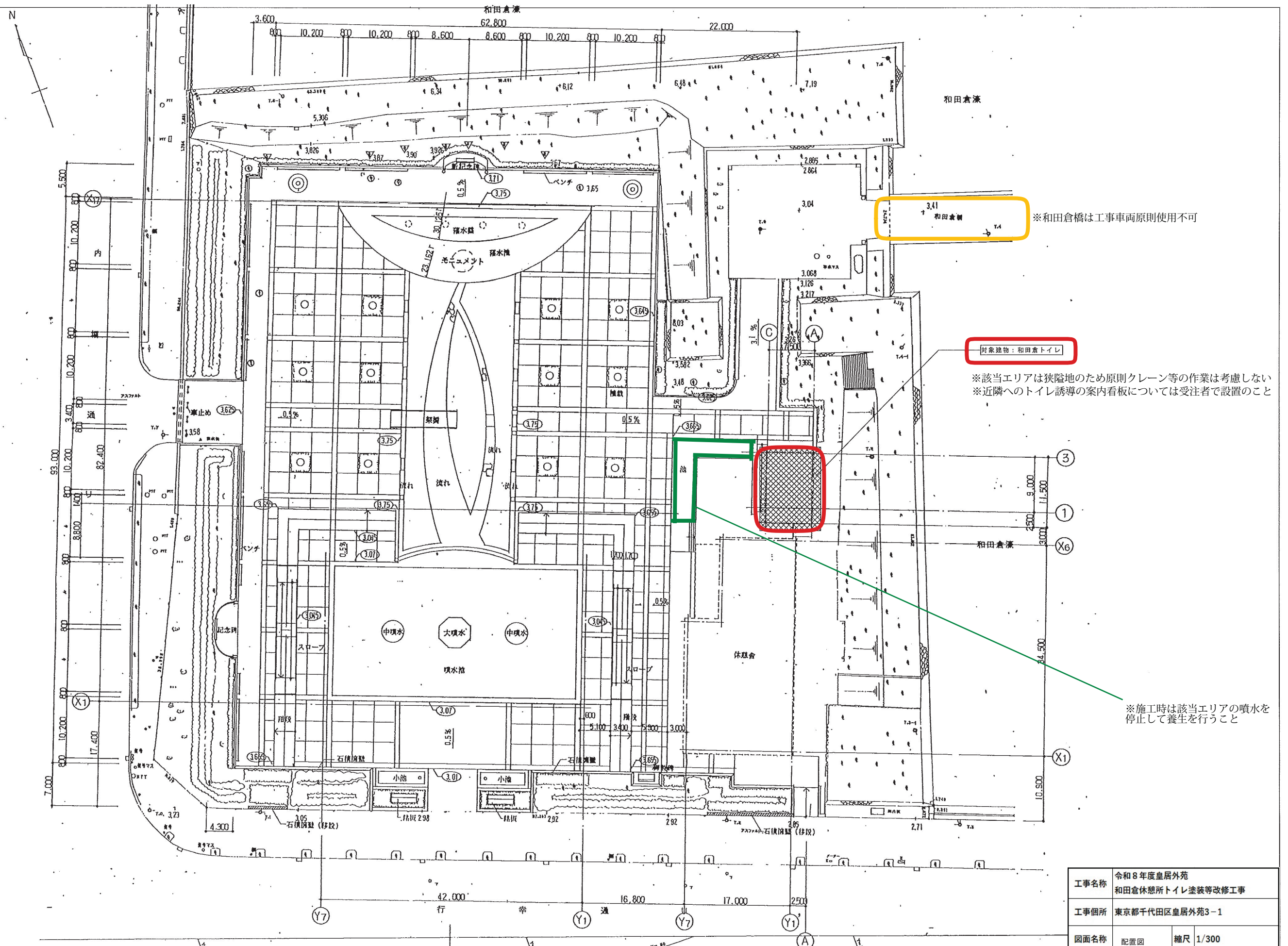
特記仕様書
(建築その5)

縮尺

図面番号

5 / 13 年月 令和8年6月

[illegible]



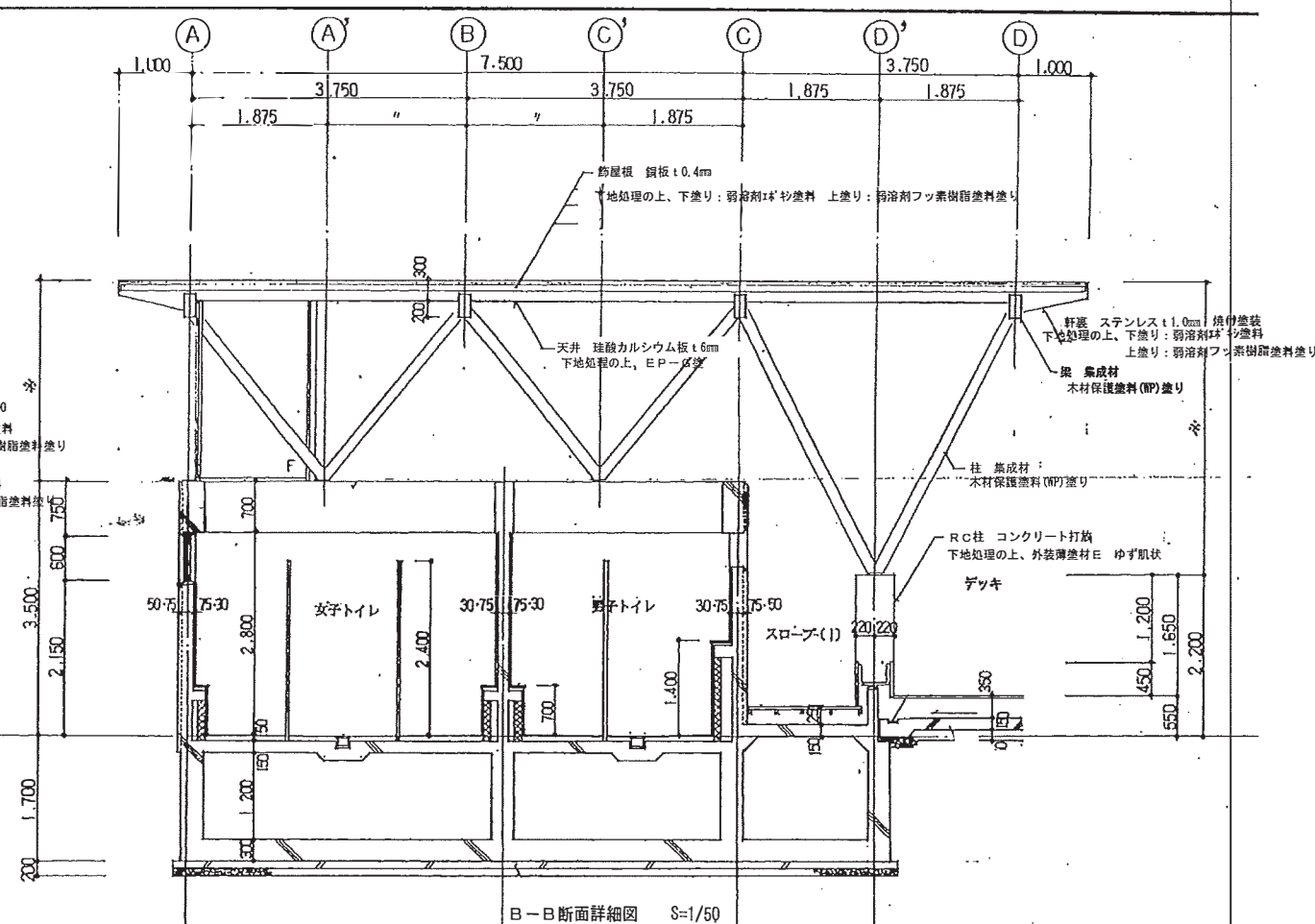
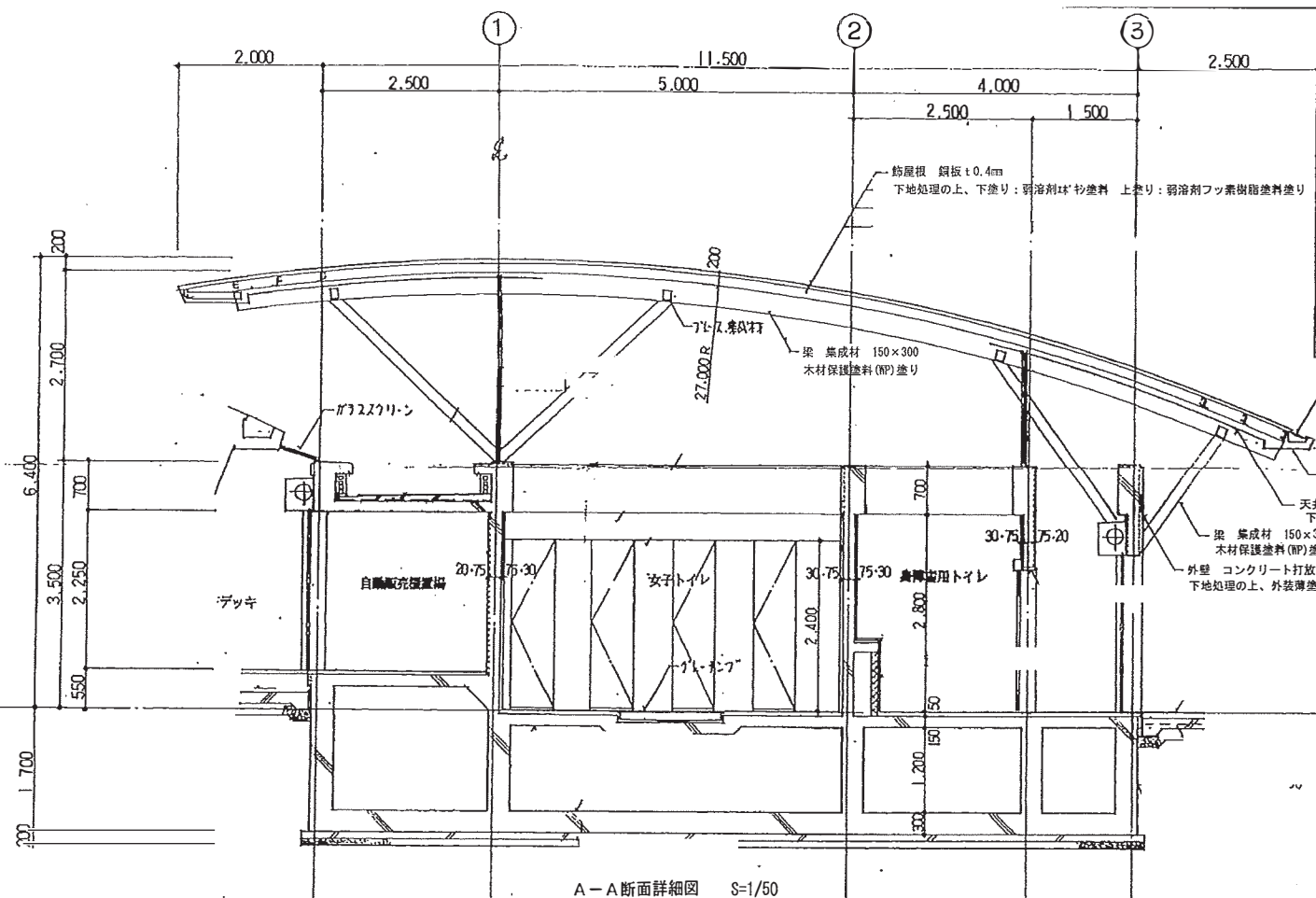
※和田倉橋は工事車両原則使用不可

対象建物：和田倉トイレ

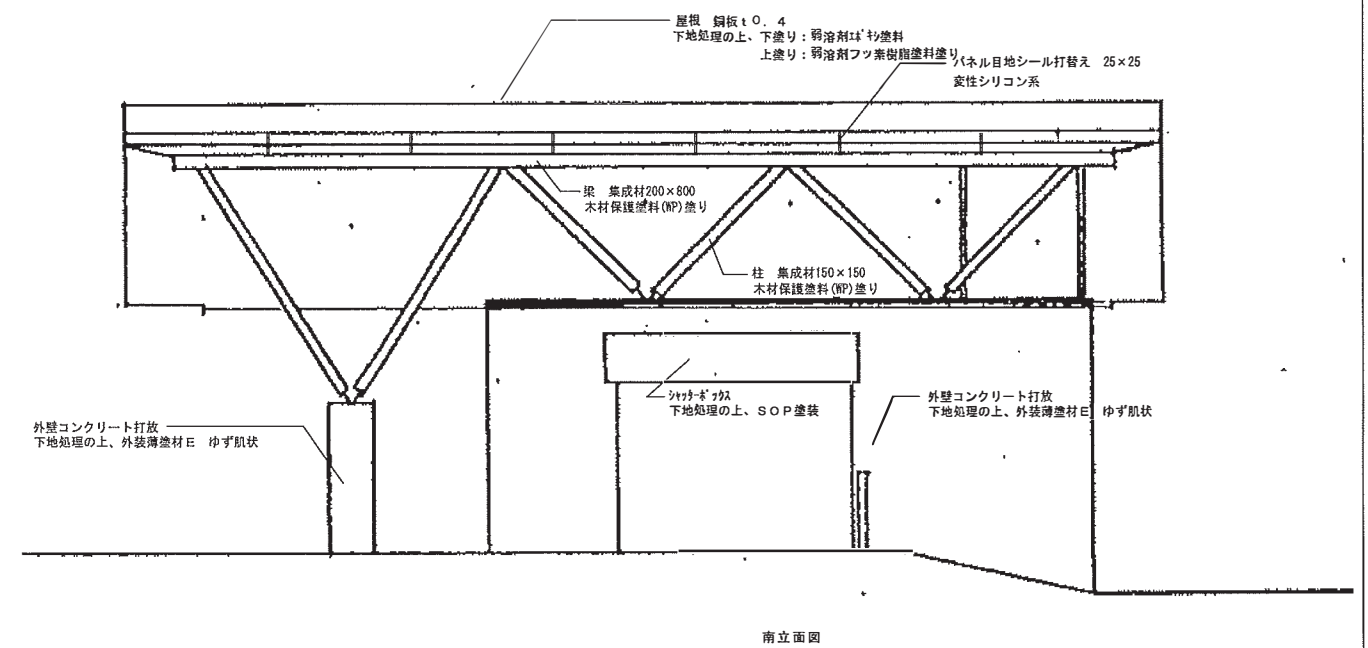
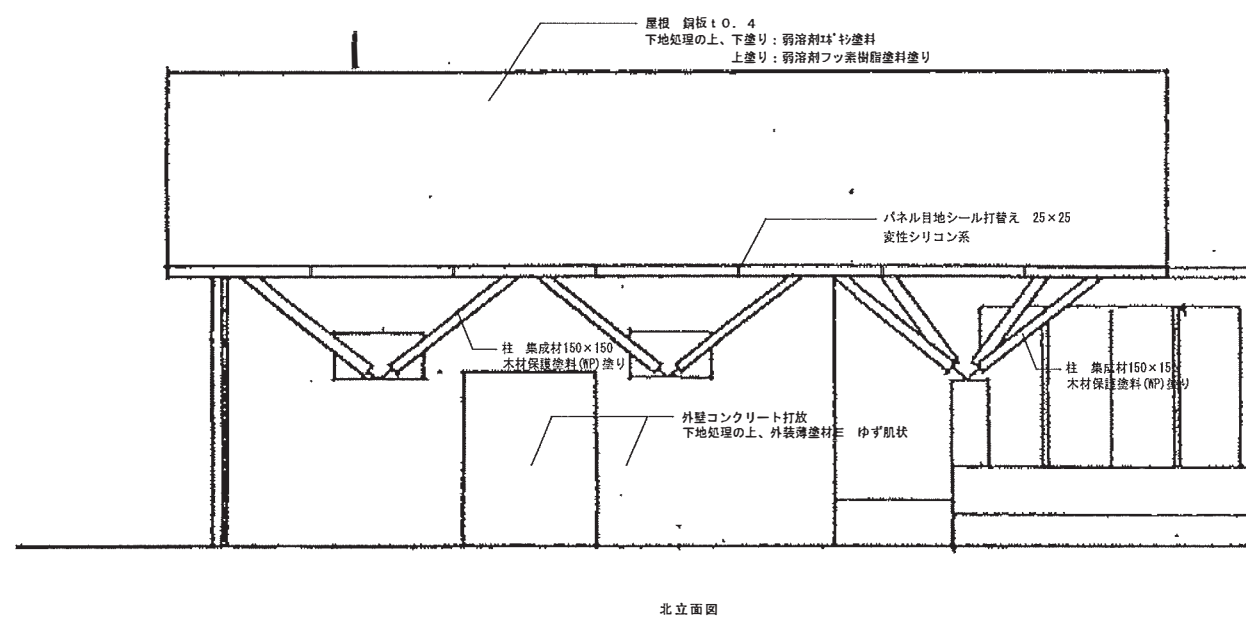
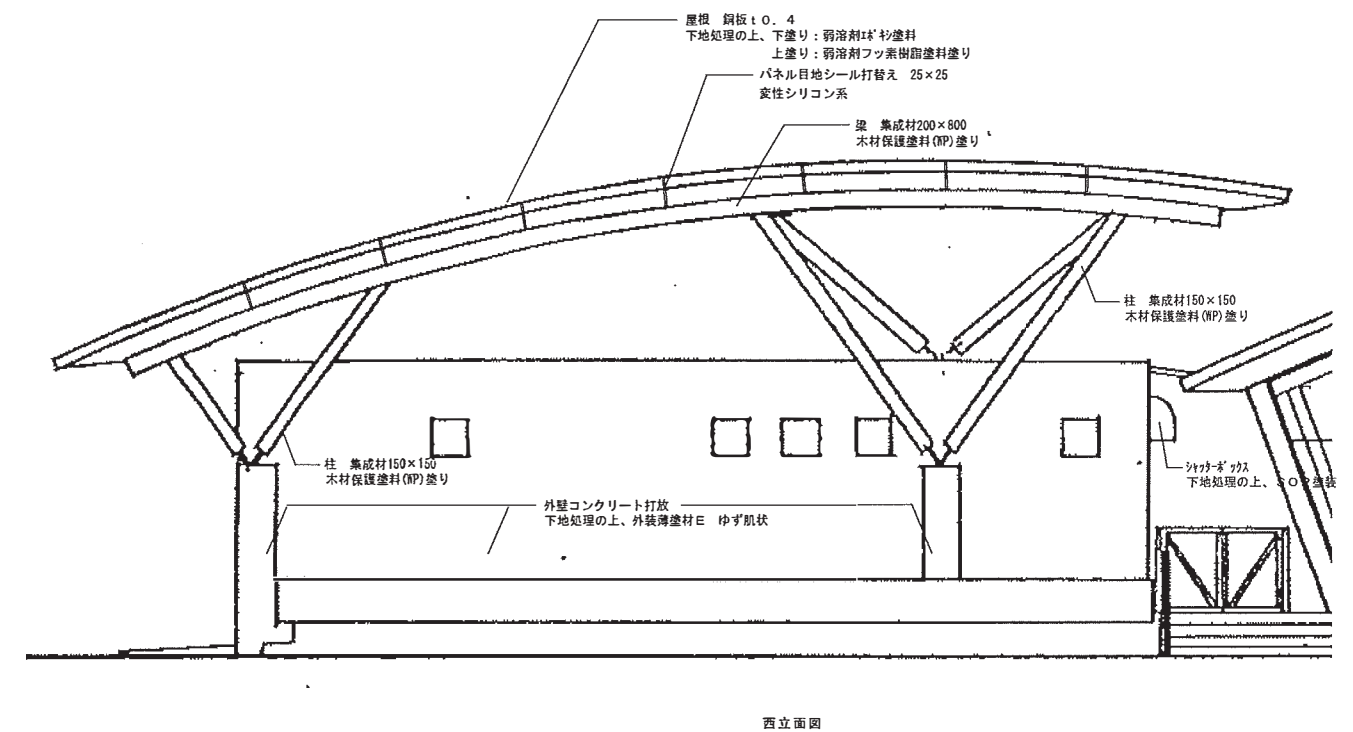
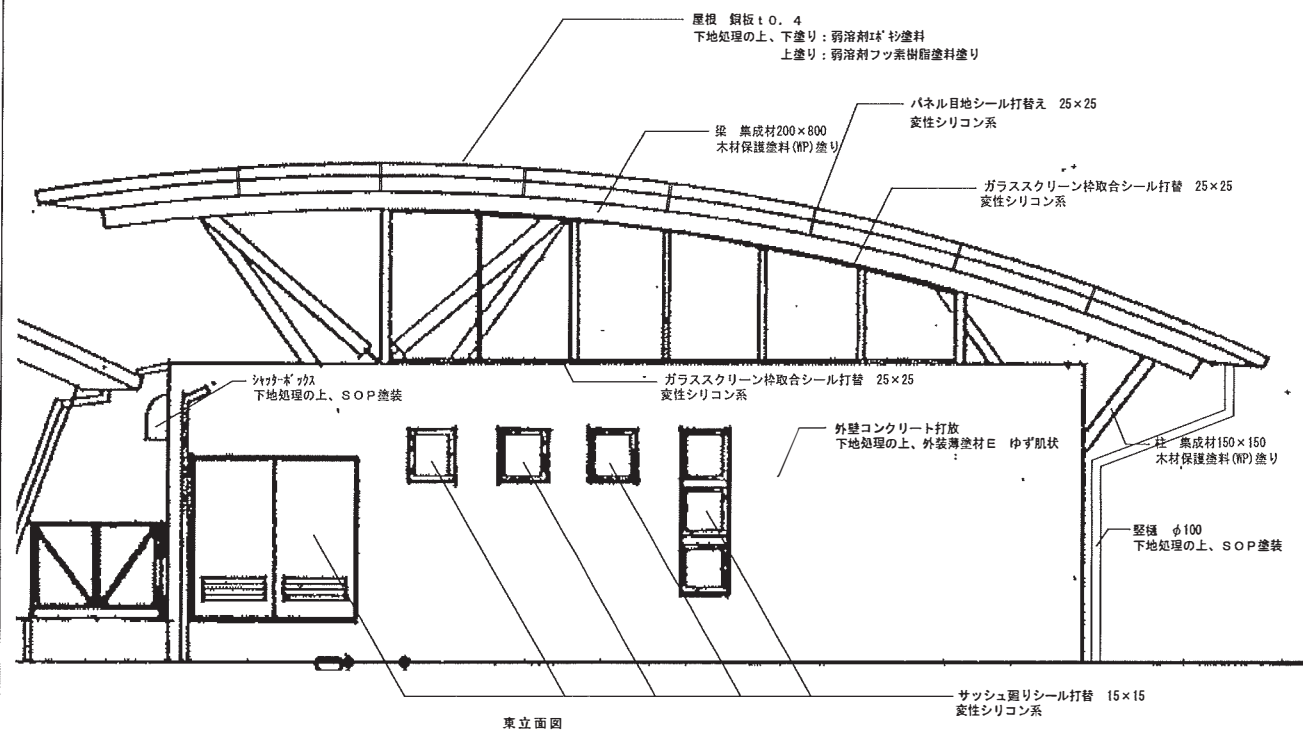
※該当エリアは狭隘地のため原則クレーン等の作業は考慮しない
※近隣へのトイレ誘導の案内看板については受注者で設置のこと

※施工時は該当エリアの噴水を停止して養生を行うこと

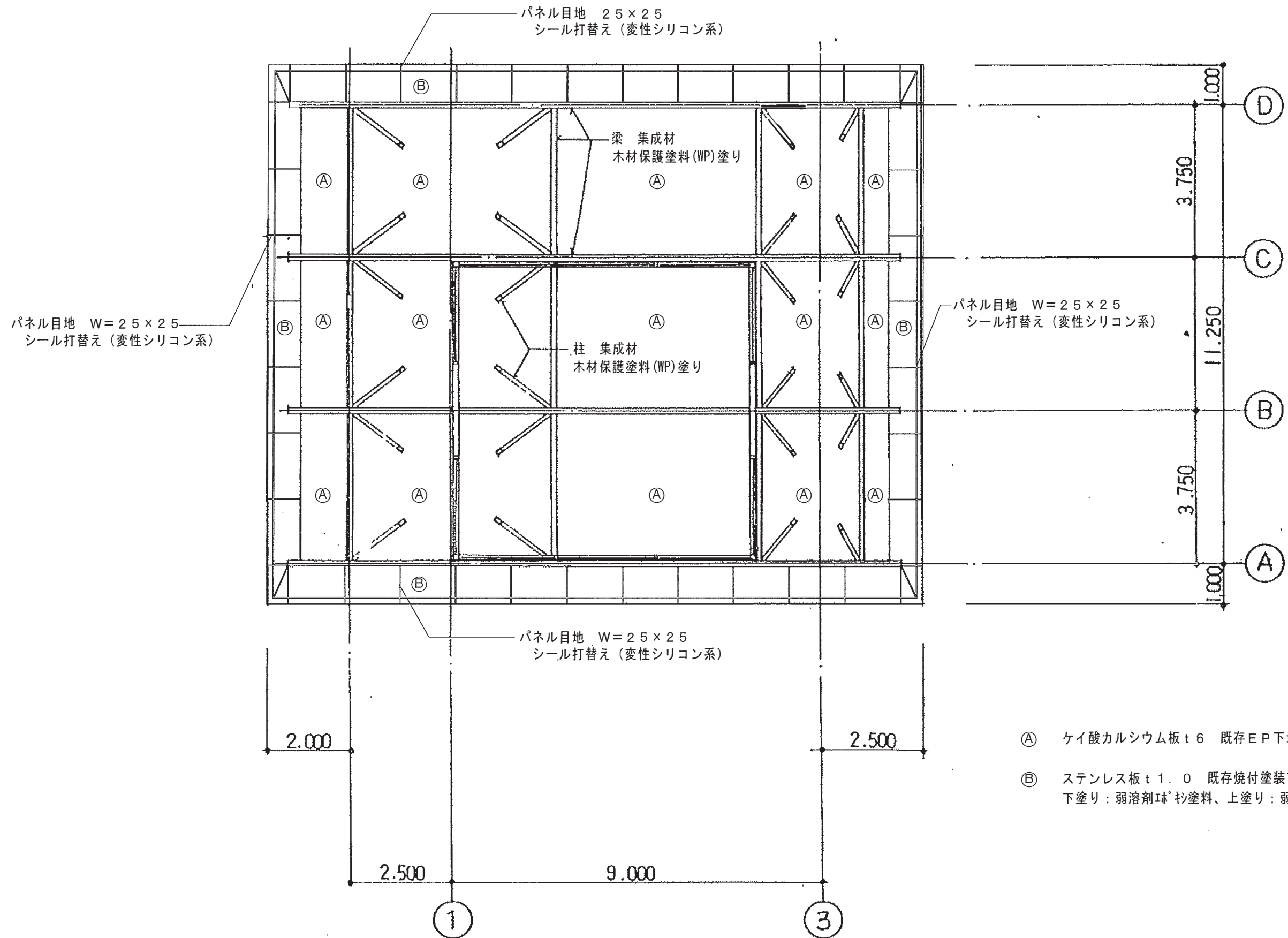
工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	配置図	縮尺	1/300
図面番号	7	/13 年月	令和8年6月



工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	便所断面詳細図	縮尺	1/300
図面番号	8	/ 13 年月	令和8年6月

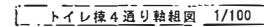
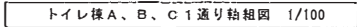
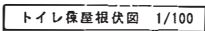


工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	立面図	縮尺	1/300
図面番号	9	/ 13	年月 令和8年6月



- ④ ケイ酸カルシウム板 t 6 既存EP下地処理の上EP-G塗
- ③ ステンレス板 t 1.0 既存焼付塗装下地処理の上
下塗り：弱溶剤珪酸塗料、上塗り：弱溶剤フッ素樹脂塗料塗り

工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	天井伏図	縮尺	1/300
図面番号	10/13	年月	令和8年6月

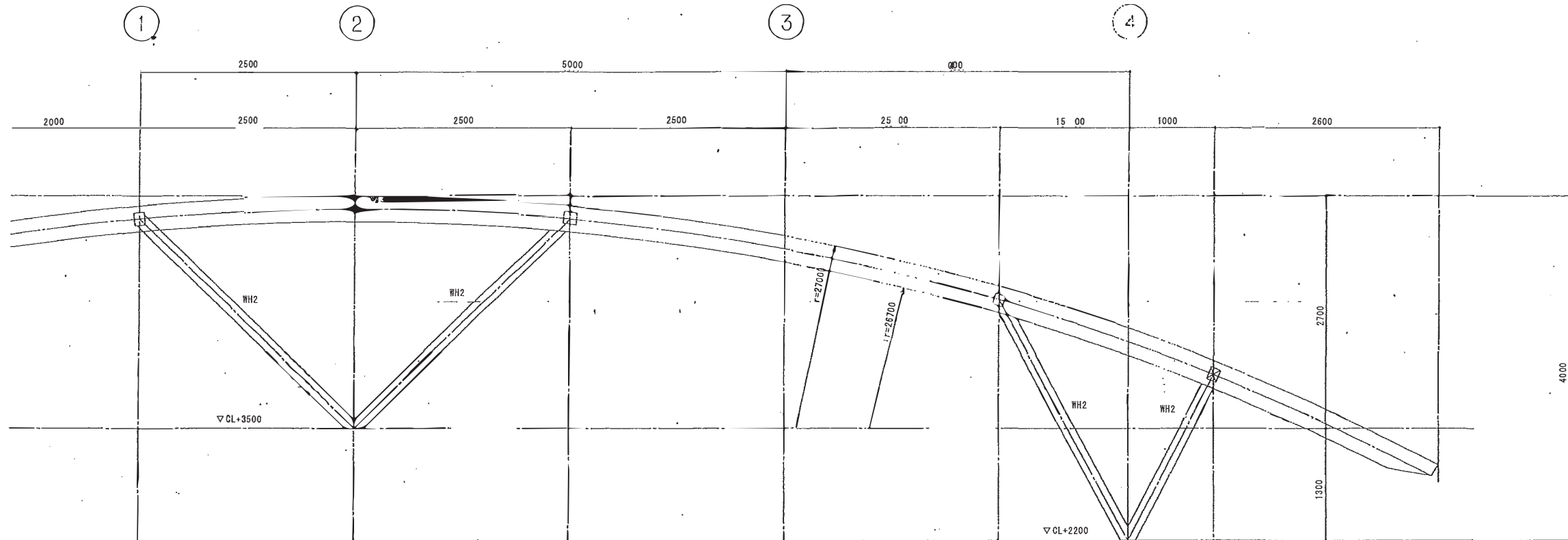


トイレ棟D通り軸組図 1/100

木部塗装範囲リスト・仕様

※塗装面 全面サンダー掛けの上、保護塗料 2 回塗りとする。

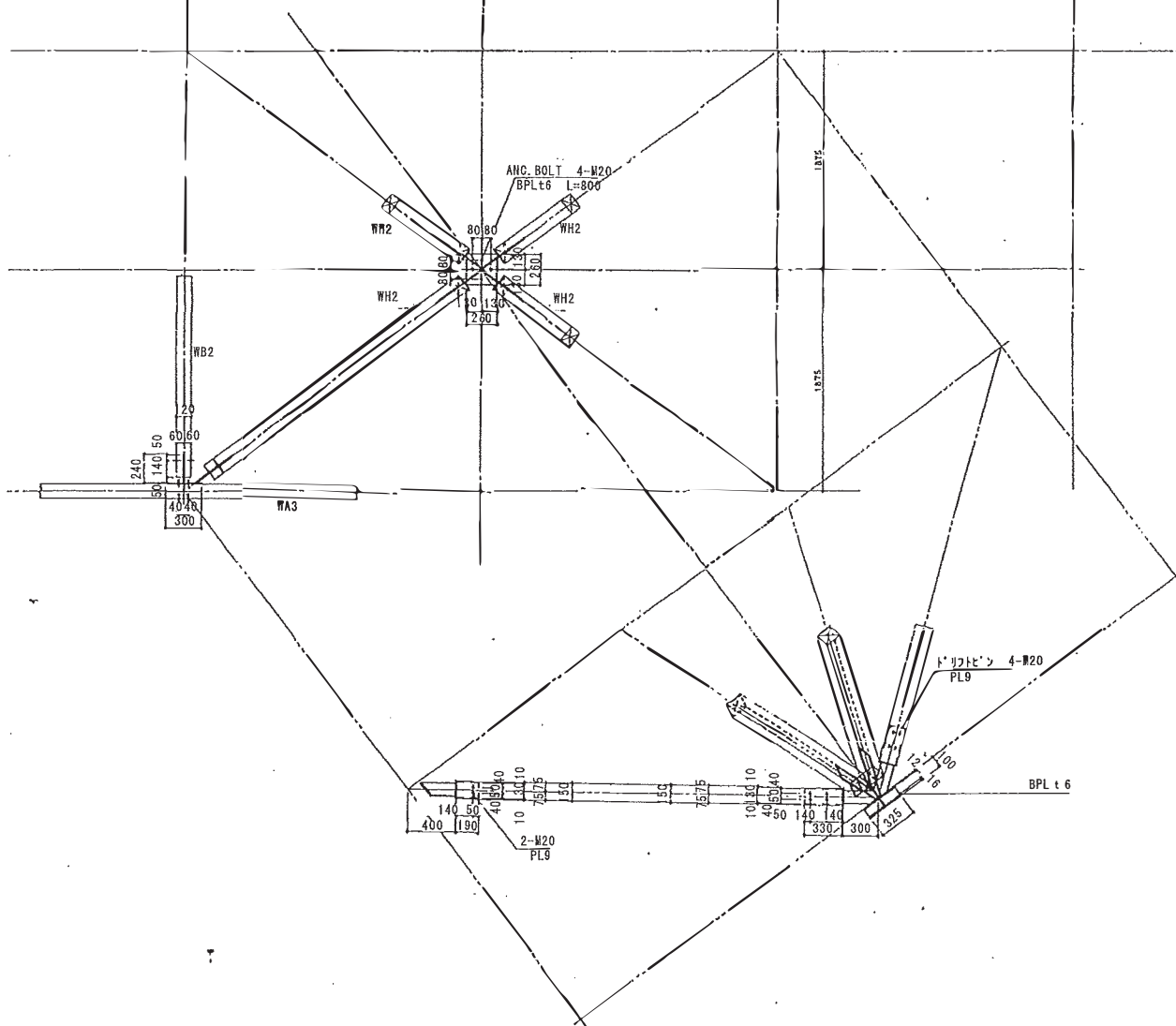
工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	木部塗装範囲図	縮尺	1/300
図面番号	11 / 13	年月	令和8年6月



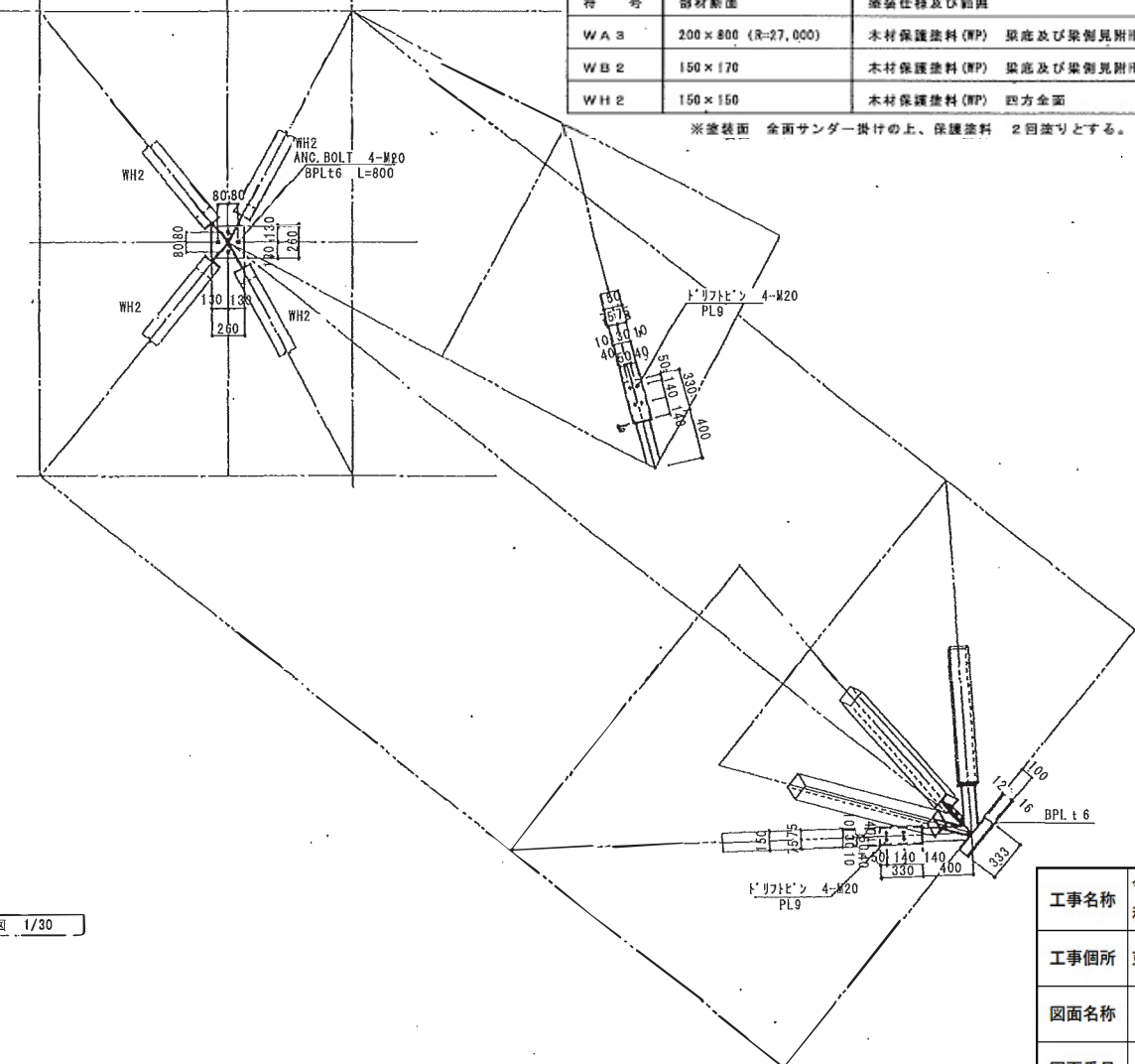
木部塗装範囲リスト・仕様

符 号	部材断面	塗装仕様及び範囲	備 考
WA 3	200×800 (R=27,000)	木材保護塗料 (WP) 梁底及び梁側見附H=150	構造用集成材 米松 JAS1級
WB 2	150×170	木材保護塗料 (WP) 梁底及び梁側見附H=50	構造用集成材 米松 JAS1級
WH 2	150×150	木材保護塗料 (WP) 四方全面	構造用集成材 米松 JAS1級

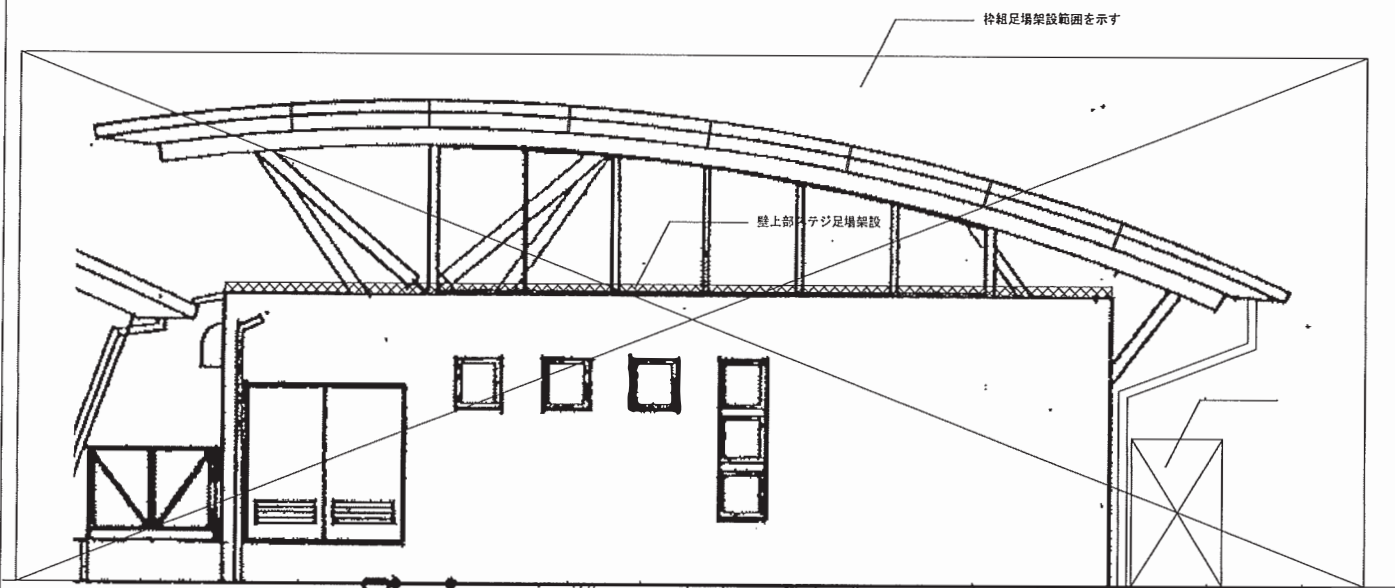
※塗装面 全面サンダー掛けの上、保護塗料 2回塗りとする。



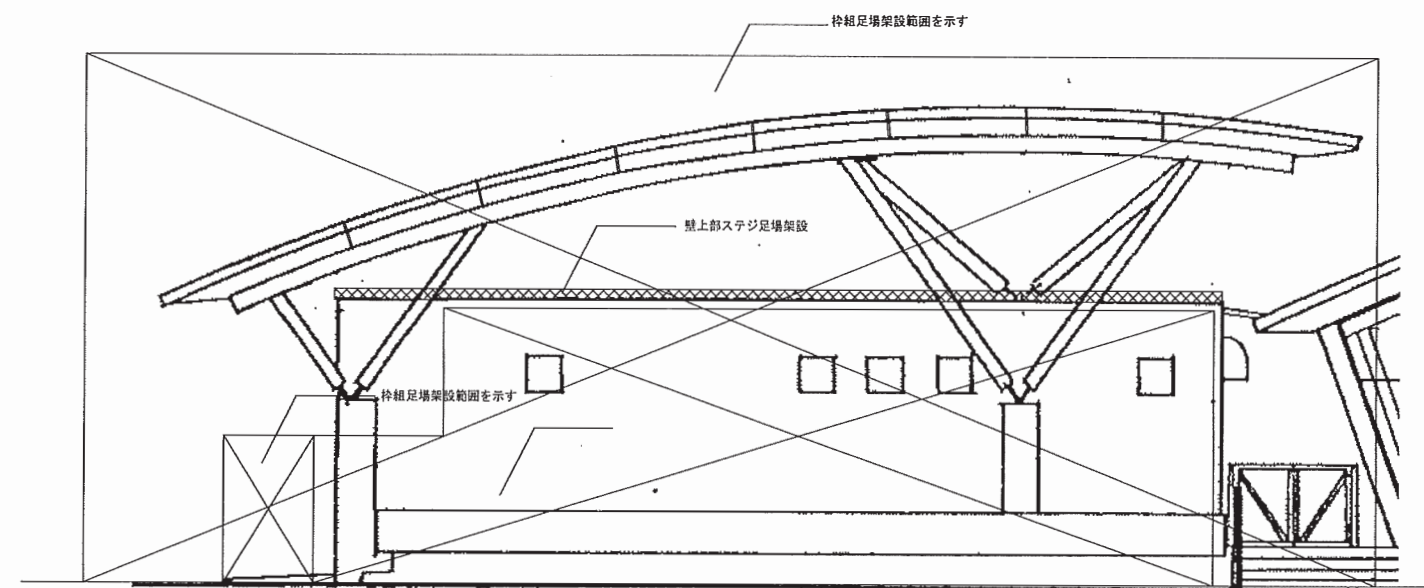
トイレ接続合詳細図 1/30



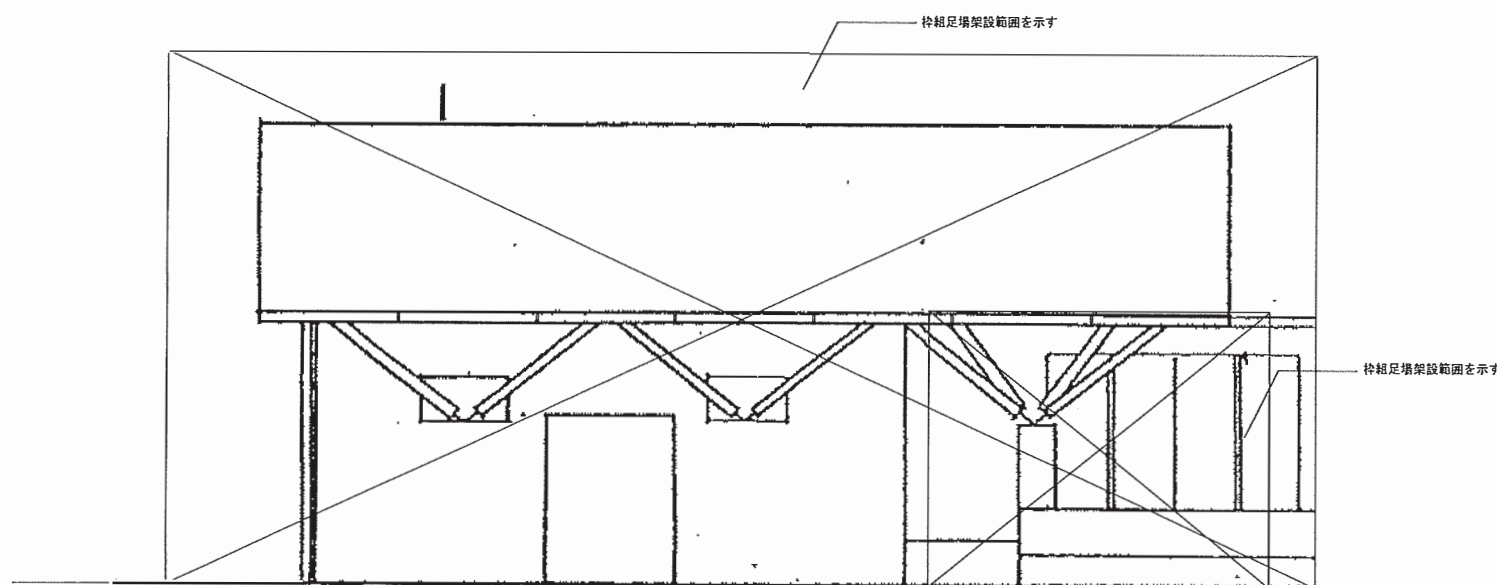
工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	木部詳細範囲図2	縮尺	1/300
図面番号	12 / 13	年月	令和8年6月



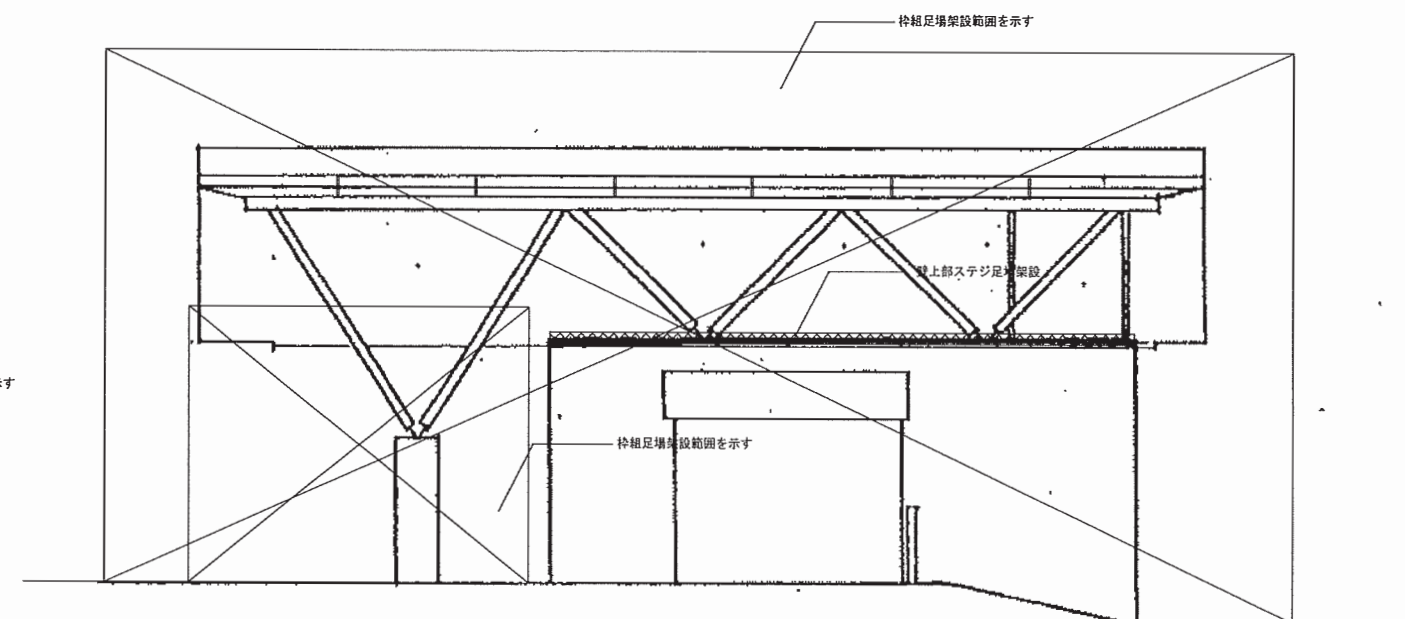
東立面図



西立面図



北立面図



南立面図

※足場周囲は仮囲 万能鋼板フラットタイプ H=3,000設置

工事名称	令和8年度皇居外苑 和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事		
工事箇所	東京都千代田区皇居外苑3-1		
図面名称	仮設計画図	縮尺	1/300
図面番号	13 / 13	年月	令和8年6月

設計内訳書

工事名	令和8年度皇居外苑和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
改修工事		式	1					第1号 科目別内訳	
直接工事費計		式	1						
共通仮設費(率計上)		式	1						
共通仮設費計		式	1						
純工事費		式	1						
現場管理費		式	1						
雑費		式	1						
現場管理費計		式	1						
工事原価		式	1						
一般管理費等		式	1						
工事価格		式	1						
消費税相当額		式	1						

設計内訳書

工事名	令和8年度皇居外苑和田倉休憩所トイレ塗装等改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
工事費計		式	1						

1 式 科目別内訳

改修工事
第1号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設工事		式	1					第2号 科目別内訳
防水工事		式	1					第3号 科目別内訳
建具塗装工事		式	1					第4号 科目別内訳
屋根塗装工事		式	1					第5号 科目別内訳
撤去工事		式	1					第6号 科目別内訳
建設発生材		式	1					第7号 科目別内訳
	合計							

1 式 科目別内訳

仮設工事
第2号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
外部養生工		m2	86.3					
施工前清掃	(作業時間制限あり)	m2	86.3					
施工後清掃	(作業時間制限あり)	m2	86.3					
外部足場工事 くさび緊結式足場 抜け止め機能付型	手摺先行 幅900mm 高10m未満 存置3ヵ月 (搬入制限あり)	架m2	531					
内部足場工事	ステージ足場 H=4.7m 隙間ベニア養生 (搬 入制限あり)	m2	212					
直接仮設工事(外部足場)	直接仮設工事 外部足場 最上部安全手摺 枠 組本足場用 3ヵ月 施工規模-m 材工共 (搬入 制限あり)	m	87.9					
防じんネット・プラント品-	サイ防塵ネット 幅3m×長10m ポリエチレン製 堺商 事	m2	87.9					
足場搬入・撤去手間(積替・作業 時間制限)		式	1					
噴水養生	(指定箇所・塗料飛散防止措置・ベニア養生等 含む)約100㎡程度	式	1					
備品移設・復旧	ベンチ4基	式	1					
	合計							

1 式 科目別内訳

防水工事
第3号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
屋根軒裏 パネル目地シーリング打替	変成シリコン系 MS-2 25×25	m	105					
ガラススクリーン枠	変成シリコン系 MS-2 25×25	m	15					
建具廻り	変成シリコン系 MS-2 15×15	m	23.1					
	合計							

1 式 科目別内訳

建具塗装工事
第4号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
外壁	既存塗膜除去 高圧水洗 50～100MPa	m2	150					
外壁	下地調整(C-2)既存コンクリート面	m2	150					
外壁 外装薄塗材E	ゆず肌状 既存コンクリート面	m2	150					
柱	既存塗膜除去 高圧水洗 50～100MPa	m2	12.7					
柱	下地調整(C-2)既存コンクリート面	m2	12.7					
柱	ゆず肌状 既存コンクリート面	m2	12.7					
	合計							

1 式 科目別内訳

屋根塗装工事
第5号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
飾り屋根天端 フッ素樹脂塗装	下地処理 高圧洗浄+第三種ケレン共 下塗り:弱溶剤エポキシ塗料 上塗り:弱溶剤フッ素樹脂塗料	m2	221					
飾り屋根軒先役物	フッ素樹脂塗装 既存鋼板面	m	26.5					
飾り屋根ケラバ役物	フッ素樹脂塗装 既存鋼板面	m	33.4					
飾り屋根軒樋	フッ素樹脂塗装W=300 既存SUS面	m	13.3					
屋根軒裏	フッ素樹脂塗装 既存SUS面	m2	55.9					
屋根裏天井	既存下地調整 RB種既存ケイカル面	m2	193					
屋根裏天井	EP-G塗装 既存ケイカル面 工程B種	m2	193					
屋根裏天井 既存縦樋面 φ100	既存下地調整 RB種既存縦樋面 φ100	m	5.1					
屋根裏天井 既存縦樋面 φ100	錆止め塗装 既存縦樋面 φ100	m	5.1					
屋根裏天井 既存縦樋面 φ100	SOP塗装既存縦樋面 φ100	m	5.1					
屋根トラス(WA3)	サンダー掛200×800 既存木面	m	66.8					
屋根トラス(WA3) 糸=500 2回塗	木材保護塗料(WP) 既存木部サンダー掛面	m	66.8					

1 式 科目別内訳

屋根塗装工事
第5号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
屋根トラス(WB2)	サンダー掛150×170 既存木面	m	45					
屋根トラス(WB2)	木材保護塗料(WP) 既存木部サンダー掛面	m	45					
屋根トラス(WH2)	サンダー掛150×150 既存木面	m	84.6					
屋根トラス(WH2) 糸=600 2回塗	木材保護塗料(WP)既存木部サンダー掛面	m	84.6					
屋根トラス(WH2)	既存下地調整 RB種既存シャッターボックス面	m2	2.4					
屋根トラス(WH2)	錆止め塗装 既存シャッターボックス面	m2	2.4					
屋根トラス(WH2)	SOP塗装 既存シャッターボックス面	m2	2.4					
	合計							

1 式 科目別内訳

撤去工事
第6号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
屋根軒裏(材工共)	パネル目地シーリング撤去 変成シリコン系 25×25	m	105					
ガラススクリーン枠	取合シーリング撤去 変成シリコン系 25×25	m	15					
建具廻り	シーリング撤去 変成シリコン系 15×15	m	23.1					
	合計							

1 式 科目別内訳

建設発生材
第7号 科目別内訳

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
建設発生材積込	内装仕上材 人力	m3	0.1					
建設発生材運搬	廃プラ	台	1					
	合計							

1 式 科目別内訳

処分費

第8号 科目別内訳

[illegible]

数量総括表

No	名称	規格	単位	設計数量	採用数量	備考
	【仮設工事】					
1	外部養生工	(作業時間 制限あり) 8:30～11:30、14:00～17:00	m2	86.3	86.3	
2	施工前清掃	(作業時間 制限あり) 8:30～11:30、14:00～17:00	m2	86.3	86.3	
3	施工後清掃	(作業時間 制限あり) 8:30～11:30、14:00～17:00	m2	86.3	86.3	
4	外部足場工事 くさび緊結式足場 抜け止め機能付型	手摺先行 幅900mm 高10m未満 存置3か月 搬入制限・時間制限あり 8:30～11:30、14:00～17:00	架m2	531	531	
5	内部足場工事	ステージ足場 H=4.7m 隙間ベニア養生 搬入制限・時間制限あり 8:30～11:30、14:00～17:00	m2	212	212	
6	直接仮設工事(外部足場)	直接仮設工事 外部足場 最上部安全手摺 枠組本足場用 3か月 材工共(搬入制限・作業時間制限あり 8:30～11:30、14:00～ 17:00)	m	87.9	87.9	
7	防じんネット	サカイ防塵ネット 幅3m×長10m ポリエチレン製 堺商事(参考)	m2	87.9	87.9	
8	足場搬入・撤去手間	(積替・作業時間制限あり 8:30～11:30、14:00～17:00)	式	1	1	
9	噴水養生	(指定箇所・塗料飛散防止措置・ベニア養生等含む)約100㎡程 度	式	1	1	
10	備品移設・復旧	ベンチ4基	式	1	1	
	【防水工事】					
11	屋根軒裏 パネル目地シーリング打 替	変成シリコン系 MS-2 25×25	m	105	105	
12	ガラススクリーン枠	変成シリコン系 MS-2 25×25	m	15	15	
13	建具廻り	変成シリコン系 MS-2 15×15	m	23.1	23.1	
	【建具塗装工事】					
14	外壁	既存塗膜除去 高圧水洗 50～100MPa	m2	150	150	
15	外壁	下地調整(C-2) 既存コンクリート面	m2	150	150	
16	外壁 外装薄塗材E	ゆず肌状 既存コンクリート面	m2	150	150	
17	柱	既存塗膜除去 高圧水洗 50～100MPa	m2	12.7	12.7	
18	柱	下地調整(C-2) 既存コンクリート面	m2	12.7	12.7	
19	柱 外装薄塗材E	ゆず肌状 既存コンクリート面	m2	12.7	12.7	
	【屋根塗装工事】					
20	飾り屋根天端 フッ素樹脂塗装	下地処理 高圧洗浄+第三種ケレン共 下塗り:弱溶剤エポキシ塗料 上塗り:弱溶剤フッ素樹脂塗料	m2	221	221	
21	飾り屋根軒先役物	フッ素樹脂塗装 既存銅板面	m	26.5	26.5	
22	飾り屋根ケラバ役物	フッ素樹脂塗装 既存銅板面	m	33.4	33.4	
23	飾り屋根軒樋	フッ素樹脂塗装W=300 既存SUS面	m	13.3	13.3	
24	屋根軒裏	フッ素樹脂塗装 既存SUS面	m2	55.9	55.9	
25	屋根裏天井	既存下地調整 RB種既存ケイカル面	m2	193	193	
26	屋根裏天井	EP-G塗装 既存ケイカル面 工程B種	m2	193	193	

No	名称	規格	単位	設計数量	採用数量	備考
	【屋根塗装工事】					
27	屋根裏天井 既存堅樋面 φ100	既存下地調整 RB種既存堅樋面 φ100	m	5.1	5.1	
28	屋根裏天井 既存堅樋面 φ100	錆止め塗装 既存堅樋面 φ100	m	5.1	5.1	
29	屋根裏天井 既存堅樋面 φ100	SOP塗装既存堅樋面 φ100	m	5.1	5.1	
30	屋根トラス(WA3)	サンダー掛200×800 既存木面	m	66.8	66.8	
31	屋根トラス(WA3) 糸=500 2回塗	木材保護塗料(WP) 既存木部サンダー掛面	m	66.8	66.8	
32	屋根トラス(WB2)	サンダー掛150×170 既存木面	m	45	45	
33	屋根トラス(WB2)	木材保護塗料(WP) 既存木部サンダー掛面	m	45	45	
34	屋根トラス(WH2)	サンダー掛150×150 既存木面	m	84.6	84.6	
35	屋根トラス(WH2) 糸=600 2回塗	木材保護塗料(WP)既存木部サンダー掛面	m	84.6	84.6	
36	屋根トラス(WH2)	既存下地調整 RB種既存シャッターボックス面	m2	2.4	2.4	
37	屋根トラス(WH2)	錆止め塗装 既存シャッターボックス面	m2	2.4	2.4	
38	屋根トラス(WH2)	SOP塗装 既存シャッターボックス面	m2	2.4	2.4	
	【撤去工事】					
39	屋根軒裏(材工共)	パネル目地シーリング撤去 変成シリコン系 25×25	m	105	105	
40	ガラススクリーン枠	取合シーリング撤去 変成シリコン系 25×25	m	15	15	
41	建具廻り	シーリング撤去 変成シリコン系 15×15	m	23.1	23.1	
	【建設発生材】					
42	建設発生材積込	内装仕上材 人力	m3	0.1	0.1	
43	建設発生材運搬	廃プラ	台	1	1	
44	建設発生材処分	廃プラ	m3	0.1	0.1	